

2015年2月5日

国際ソロプチミストアメリカ日本北リジョン
ガバナー 潮 まどか

ご報告

『東日本大震災義援金プロジェクト 被災地クラブ支援～未来をつなぐ～』

2011年3月11日の東日本大震災から約4年近い歳月が経とうとしております。日本北リジョンでは震災後まず被災地と被災クラブへ緊急支援を実施いたしました。その後ソロプチミストとして女性ならではの視点で、被災された人々の傷ついた心を癒し再生の道を歩む一助になればと、『東日本大震災義援金プロジェクト』を立ち上げ、被災地の復興を願いながら、現地で活動する団体などへの支援を続けてまいりました。

しかし、今なお被災地は様々な困難と直面し、更なる支援を求めている現状です。そのことを切実に実感しているのが、被災地にあって活動する姉妹クラブの皆様方です。自らが被災されながらも、クラブ会員が心を一つにして、地域の被災者支援に慈愛の援助の手を差し伸べる活動を続けられています。これらの活動資金はクラブの歳入事業益金などから捻出されていますが、被災地では人口流出が続き、クラブの皆様には活動の継続、会員維持に大変なご苦勞があることを伺っております。

今期、東日本大震災復興支援継続の課題に取り組んで行くと表明した日本北リジョン理事会では、その支援方法について現状を調査し検討を重ねました。その中で、被災地にあるソロプチミストクラブ奉仕活動への支援が、現時点では最も有効かつ求められていることであるとの結論に至りました。

それらを踏まえ、日本北リジョン理事会では、今期の東日本大震災義援金プロジェクト内容を『東日本大震災義援金プロジェクト 被災地クラブ支援 ～未来をつなぐ～』とし、被災地にあって活動しているクラブの奉仕事業を支援することに決定いたしました。

対象は、仙台市の4クラブを除く SI久慈・SI大船渡(以上岩手県)・SI石巻・SI石巻サンファン・SI気仙沼(以上宮城県)・SI原町・SIいわき・SIいわき中央・SIMリンいわき・SI相馬・SI田村(以上福島県)の11クラブの第1群、SI会津・SIばんげ・SI福島・SI喜多方・SI郡山・SI須賀川(以上福島県)の6クラブの第2群です。現在、東日本大震災義援金口に残る約600万円から300万円を充当する予定です。

他県にあって、被災者の支援活動を実施されているクラブがあることも承知しておりますが、会員の皆様には、設立趣意をお汲み取りいただき、今期もプロジェクトへのご理解ご協力を賜りますよう、何卒よろしく願いいたします。